西条中学校研究通信

第3号

研究部

6月18日(水)に大妻女子大学より澤井陽介先生をお迎えして、全体研修会を行いました。中間試験や組曲中間発表会への取り組み、また部活動では各種大会参加に向けてのご指導など、忙しい中での研修会実施でしたが、小野主幹の授業を参観したことを基に Round Study 方式で熱心な協議を行うことができました。また、その後の澤井先生のご講話では、本校の研究テーマに沿って、次期指導要領改訂をも視野に入れたお話をしていただき、学びの多い、有意義な研修会となりました。熱心なご参加ありがとうございました。

【研究授業振り返り】

午前中には、小野祥子主幹教諭による国語科の研究授業が行われました。学習指導案の生徒観に記載されている通り、令和 7 年度全国学力・学習状況調査③四「文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかを見る」ことを趣旨とした設問において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えたことを文章に表すことに課題がある生徒が多いという生徒実態から、単元計画を作成されました。そこで今回は、中学校学習指導要領解説 国語編の第 3 学年の内容の 2 (思考力、判断力、表現力等)の C 読むこと (1)「イ 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えること。」「ウ 文章の構成や論理の展開(以後、「場面の展開」と読み替える)、表現の仕方について評価すること。」から、菊池寛が著した「形」とそのもととなった古典作品「松山新助の勇将中村新兵衛が事」の二つの作品の比較を通して、「形」の魅力について評価し、批評文を作成するという目標と設定し、授業が展開されました。今回の授業で印象に残った点は次の 2 点です。

- 1. 「形」の一番の魅力を書かせる際に、前時の学習から導かれた選択肢を提示し、選択する場面を設定したこと。
- 2. 選択した理由を Google スライドに入力させ、学級内で互いに 共有する場面を設定したこと。



小野先生の授業には、私たち指導者が参考にすべき点がたくさんありました。その中から今回は4点ご紹介します。

1 点目、面白さを感じる作品の特に印象的な部分にサイドラインをひかせたり、二つの作品の

違いを表にまとめさせたりするなどの工夫を取り入れたこと。そのようなスモールステップを踏んだ取り組みやすい活動を取り入れたり、表を用いて文章を構造的に理解する活動を行ったりすることによって、読み取りが苦手な生徒も、登場人物の設定の仕方やものの見方や考え方、作品の構成の違いなどについてきちんと捉えることができ、一番の魅力を選んで理由を書く活動にも、全員がスムーズに取り組むことができていました。

2点目、「形」の一番の魅力を記述するための視点を、前時までに読み取ったことをもとに「選択肢」として黒板に明示したこと。記述のための視点を視覚的に明示したことにより、生徒は前時までの学習を想起しつつ、自らの記述の視点を選択することによって主体的に書く活動に取り組むことができていました。

3点目、Google スライドを活用したこと。このことにより、文章を書くことが苦手な生徒も、 他の生徒の考えも参考にしながら書き進めることができていました。

4 点目、振り返りを書かせる際に、本時で見取りたい生徒の姿を見取るための「振り返りの視点」を明確に示したこと。指導案の「指導と評価の計画」にあるとおり、本時は「主体的に学習に取り組む態度」を振り返り等の記述から見取る時間として計画されていました。そこで小野先生は、「自らの学習の自己調整を図ろうとしている態度」を見取ることができるように、「誰のどのような考えが自分の学びの参考になったのか」を書くように生徒に明確に指示されていました。先行して取り組まれた他の学級の生徒の記述やその後に書いた批評文を見ても、各々の生徒が、他の生徒から学び、学んだことを自分の作品に反映させていました。明確な視点を持って振り返りを行うことによって、教師が生徒の姿を見取りやすくなるだけでなく、生徒自身が自己調整を図りながら学習に取り組む態度を育てることにもつながっており、その重要性を改めて認識することができました。

さて、ここからは澤井先生からご指導いただいたことや、Round Study で話題になった 2 点について、今後私たちの授業の中で検討したい事項を紹介します。

1点目、「選択」と「共有」のあり方。今回の研究授業では、1時間の中に「選択」と「共有」の場面が1度ずつ設定されていました。澤井先生からは、「選択」の場面について、すぐに「選択肢」を示すのではなくて、まず生徒からどのような視点が考えられるか挙げさせて視点を「共有」する場面を設けてから「選択」させるという手順を踏むと、1時間の中で生徒が最初に「課題設定」を行い、終末で「評価(振り返り)」を行うというサイクルができて良いのではないかというお話を頂きました。各教科の「見方・考え方」を反映した「深い学び」を目指すためにも、「選択」の前に「共有」のステップを設けることも検討すると良いかもしれません。

2点目、「共有」の方法。今回は Google スライドを活用することによって、どの生徒も他の生徒の考えを参考にしたり、他の生徒から学ぶ「共有」の場面を設定されたりしていました。1 枚のスライドで一人一人の生徒の「選んだ視点・理由・振り返りの姿」が見取れる良さがある反面、いろいろな生徒の考えを一見しにくい、他の生徒の情報が視界に入ることによって、自分自身の作業に集中しにくい生徒がいるのではないか、などの意見もありました。スプレッドシートやCanva などのデジタルツールを活用すると同時に、口頭での発表を行ったり、ホワイトボードや付箋を活用したりするなど、どのような「共有」の仕方が効果的かについても、今後互いにアイデアを「共有」し合っていければと思います。

【今後の動き】

次回研修は、7月2日(水)各ブロックごとの指導案検討会になります。ブロックごとに知恵を 出し合って、「主体的・対話的で深い学び」を実現する単元づくりを行っていきましょう。

起案済み指導案データの保管場所は「外部」→「先生」→「R07」→「10 研究」→「00_ 指導案」→各ブロックのフォルダ です。夏休み前の指導案の提出をよろしくお願いし ます!